

舞鶴から希望の京都をつくろう！ ～地域力の創造と市民の幸せを目指す～

京都府議会議員 池田まさよし通信 [第21号]

〒624-0853 舞鶴市南田辺71番地1 TEL:0773-77-1722 FAX:0773-77-1723 ホームページ <http://www.ikedakai.net>

新しい年を迎え一か月が過ぎましたが、ご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。日頃より池田まさよしの政務活動に温かいご支援を頂いておりますことに心より厚く御礼申し上げます。

昨年十二月定例会で山田知事は、「林田知事、荒巻知事と引き継がれてきた府政の発展・継承を考えると、後進に道を譲る時が来たと思います。」と知事自身の進退について話され、次の時代を委ねる決断をされたところであります。

長い年月をかけて築いてきた京都を縦貫する自動車道が、昨年四月の城陽・八幡京田辺間の開通によって、京丹後市から木津川市まで約百四十kmが完成し、京都府の背骨ができました。この高速道路で結ばれ、アクセスが向上した京都舞鶴港も過去最高の賑わいとなり、海の京都、森の京都、お茶の京都と「もうひとつの京都」を各地で進めてきました。さらに、文化庁の全面移転も決まり、京都がこれからの日本の文化首都としての大きな役

割を担っていくことが決まった年でありました。

一方、地元舞鶴では、四月に京都府港湾局が舞鶴に設置され関係機関との連携による京都舞鶴港の活性化が期待される中、クルーズ船の入港回数が過去最高を記録したほか、平成二十九年のコンテナ貨物量は平成二十三年の二倍に相当する過去最高の約一万三千TEUを達成。また、ユネスコ世界文化遺産の審査にも関わるイコモス（国際記念物遺跡会議）の国内委員会が選ぶ、後世に残したい近現代の文化遺産「日本の二十世紀遺産二十選」に「舞鶴の海軍施設と都市計画」が選ばれました。

折しも今年、明治百五十年、そして京都府が設置されてから百五十年という年にあたります。明治期に日本の近代化を大きくリードした舞鶴の歴史ストーリーは、ほかにはない誇れる地域資源であり、一月十七日に「明治百五十年、旧軍港市日本遺産フォーラム in 東京」を開催され、広く全国に発信されておられ

ます。私たちはこの街の優れた歴史や文化に誇りを持ち次の世代に繋いでいきたいと思っております。

山田知事は今期を以て勇退されますが、私は自民党京都府議会議員団の一員として、京都府政の発展の為、とりわけ、活力ある舞鶴の創造を目指して、取り組んで参りますので何卒よろしくお願い申し上げます。



京都府議会議員 池田正義



8月28日 フライブルグ視察



9月2日 アムステルダム視察



9月8日 丹波丹後ブロック猿友会総会



9月18日 南舞鶴地区敬老会



10月7日 引揚記念館 平和祈念式典



10月18日 舞鶴保育まつり



10月27日 台風21号 田井地区



10月29日 生花展



11月4日 東舞鶴高校バザー



11月17日 パイプハウス被害視察



11月19日 南舞鶴ふれあいセンターにて



12月23日 未来に羽ばたく京都舞鶴港セミナー開催

平成29年度12月補正予算の概要 総額34億7,200万円

*台風災害復旧予算は、9月補正予算と合わせ100億円超

■道路・河川等の災害復旧	
◇土木施設の災害復旧	11億円
◇農林水産施設の災害復旧	2億円
◇河川等災害関連事業	4億円
■産業の復興支援	
◇農林漁業者復興支援事業（定置網の復旧を支援）	9,800万円
◇災害救助活動等支援事業（支援物資の提供等を支援）	900万円
◇観光にぎわい回復事業（連続する大雨の影響対策等）	700万円
■災害対応力の強化	
◇内水減災対策事業（排水ポンプ車2台整備）	9,000万円
	債務負担行為
■府立医科大学附属病院精神科病棟の整備	
◇精神科病棟整備事業（既存病棟を改修して移転）	2億300万円
■職員の給与と改定等及び退職手当支給水準の引下げ（追加提案）	
◇職員の給与と費（+15.2億円）及び退職手当（▲5.6億円）	9億5,700万円

KBS京都 府議会 カフェ

2017年11月26日に放映されました。

農商工労働常任委員会委員長として出演しました。

池田まさよし事務所 ご案内

西事務所（舞鶴市南田辺71番地1） 東事務所（舞鶴市森本町29-5）

TEL(0773) 77-1722 オープン時間 10:00~16:00
FAX(0773) 77-1723

TEL(0773) 77-5670 オープン時間 10:00~16:00
FAX(0773) 77-5671
✉ m.ikeda@kyotofugikai.jp

いつでもお気軽にお立ち寄りください。市民の皆様からのご意見・ご質問も受け付けております。

【十二月定例会】代表質問に登壇！

LNG基地、ガスパイプラインの誘致を！

【質問】 本府とアラスカ州は、天然ガス(LNG)に関する情報を交換するためエネルギー資源に関する覚書を締結し、更に日本海で表層型メタンハイドレートの埋蔵が確認されていることから、京都舞鶴港にLNG基地を作り、ガスパイプラインを舞鶴市から三田市まで繋ぐことで、大規模災害時のバックアップ機能に加え、地域産業の振興に貢献する。LNG基地誘致やガスパイプライン整備をどのように進めていくのか。

【山田知事答弁】 京都舞鶴港を拠点とした形でLNG基地を、そして、舞鶴から三田ガスパイプラインを我々は推し進めています。その観点は、一つに、日本海側で今、富山以西ではガスパイプラインが空白なため、太平洋側しかないのが、太平洋側に何かあった場合に、あつという間に私達はエネルギーの面において、大変な状況に陥るといって、危険な状況にあること。もう一つは、原発に依存しない京都を確立するためにも、北部の新しい役割として舞鶴港をエネルギー基地として確立したいということです。既に平成三十二年度の稼働を目指した木質バイオマスや発電所の事業化も進

行しています。天然ガスインフラ整備を加速するために、府としては、兵庫県とともに研究会を設立して提案をいたしました。そして、日本海沿岸地帯促進議員連盟の中に、日本海エネルギー部会を設置していただきました。また、ご指摘がありましたように、アラスカとエネルギー資源についての協定を結んで、今、交流を深めています。その結果、昨年、経済産業省のガスをシステム改革小委員会において、新潟舞鶴三田ルートが広域ガスパイプラインのモデルルートの一つに取り上げられました。これからは、採算性の問題や需要の問題がありますので、兵庫県と共同で調査を行い、広域ガスパイプラインの公益性に鑑みて、整備への公的支援策を国に求めていきます。さらに、今年度、本府では、事業に関心を持つ事業者とともに、ガスパイプラインやLNG基地、需要拡大につながるLNG発電所などの整備コストの試算結果をもとに、課題を整理する勉強会を立ち上げたいと思います。国に対して、こうした地域の取組状況を伝え、働きかけを強めていきます。

り由良川の水位が上昇しても耐えることができませんでした。その中で壊滅的な被害は防げたが、由良川の水位が上がったために、支川からの排水ができず、局所的な内水氾濫がおきたというのが特徴です。舞鶴市の高野川も高潮により河川の水が十分排水できず、内水氾濫に至っています。こうした点、最近の短時間に大雨が降るといって特徴に対して、内水対策が非常に重要性を帯びてきました。今回、中丹地域及び山城地域に新たに配備するため排水ポンプ車二台を注文しています。高野川についても、京都府が河口部の護岸整備をし、市が内水対策を、例えばフラップゲート設置とか、ポンプ場整備などの計画を定めるといって形を合意しました。スピード感を持って整備に取り組みます。東地域の浸水対策ですが、台風二十一号は、総雨量三百三十七ミリという記録的な豪雨により、床上浸水百八戸、床下浸水百六十五戸もの住宅が浸水しており、平成十六年の台風二十三号を上回る被害です。これも、高潮と内水が合わさった複合的な災害です。今回のように急に雨がたくさん降って急に水位が上昇するということ、こうしたメカニズムを解明し、それに応じた総合的な見地から被害軽減策を検討していきます。

京都舞鶴港の振興にかかせないソフト・ハードの取り組みを！

【質問】 知事は本年八月に韓国・釜山港でのトップセールスを行ったと聞くが、どのような取組みを行ったのか。また、企業立地や雇用促進に取組んできたが、これらの取組みにより得られた成果はどうか。

併せて、臨港道路や国道二十七号西舞鶴道路整備の進捗状況と今後の見通しはどうか。

【山田知事答弁】 釜山港との定期コンテナ航路については、十月末現在で七千六百九十二TEUと、過去最高の貨物量を記録した昨年と比較して二十六%増となっており、大変好調です。この、好調を維持している釜山港との関係ですが、釜山港は世界第五位のコンテナ取扱量を有しており、世界に五百余りの港湾と週五百三十一便で結ばれている、とてつもない港湾であり、舞鶴港の将来戦略において、ここの関係は不可欠であることから、八月末に訪問しました。釜山市では京都舞鶴港セミナーを開催し、釜山市の幹部や釜山港湾公社の社長と意見交換を行うとともに、韓国メーカーや物流企業約百七十名の参加者に、私も先頭に立って舞鶴港をPRしてきました。

国際埠頭整備後、北部地域では過

去五年間に二十一社の企業立地があり、四百五十五名の方が新規に雇用されています。その中でも、一番多いのが綾部、二番目が福知山、三番目が舞鶴となっております。

臨港道路や国道二十七号西舞鶴道路につきましては、臨港道路上安久線は新たに地元住民で構成される対策委員会が組織されて、地元調整を進めておりまして、西舞鶴道路については、用地買収を行い、だいたい六割程度が完了し、新造工事等が順次進められています。港湾計画目標年次の平成三十年代半ばにも供用できるように取組みます。また、上安久線の発生土砂を舞鶴国際埠頭の拡張にも活用できるように、国と調整を進めています。



京都舞鶴港 ガントリークレーン

全国初の森林水源地域の保全条例を！

【質問】 水は府民共有の財産であり、条例化による水源地域の規制を評価するが、実効性の高いルールづくりが必要である。本年九月定例会の報告案では、水源地域における取水規制にも踏み込み、他府県の規制から一歩踏み込んだ形であるが、取水規制により既に活用されている水源地域の水の取り扱いや、水を活用した産業の発展を阻害しないよう、水源の保全と利活用が両立しうる配慮が必要と考えるが、検討されている条例案では、具体的にどのような地域に、どのような規制をおこなうのか。

【山田知事答弁】 外国資本等による森林の買い占め等が社会問題となる中で、各地域で水源を守る条例が制定されています。森林が七十四%を占め、豊かな水にめぐまれていて、和食文化や伝統産業を支えてきている京都の水、この永続的な保全は大きな課題であります。このため、条例を制定することにし、専門家会議を設置し意見を聴き、本会議でその内容を説明した後にパブリックコメントを行い、二月議会に提案したいと考えています。その概要は、水源涵養機能の維持を図る地域を「森林水源地域」として上で、特に規制が必要なエリアについては「重点森林

水源保全地区」として指定します。この地区は、他府県でも導入されている土地の所有権移転等の事前届出を義務づけ、森林整備の必要性や用途変更に伴う法令順守等を指導します。そして、取水については、他府県にない規制を行い、簡易水道や農業排水、更には既に商業的に利用されている取水は規制対象から除きます。その上で、新たに商業目的で飲料水などを重点森林水源保全地域内で一定量以上取水しようとする者に対しては、取水計画と水源の涵養機能の保全に向けた取組みを記載した申請書の提出を求め、その中で京都府森林水源地域保全審議会の意見を聴いて、京都の水環境に重大な影響が出ない場合には許可する、全国初の取組みを進めます。さらに、計画を超えて取水したり、取水により地盤沈下や水質悪化など、周辺地域の生活環境に著しい影響を与えると認められた場合には、指導や取水の中止などの措置を考えています。



高野川視察

【質問】 台風二十一号の被災状況を見てどのように感じたか。舞鶴市西市街地の高野川流域の治水対策は一刻も早く対策が望まれるが、現在の進捗状況はどうか。併せて、舞鶴市東地域においても、大きな浸水被害を受けたが、浸水メカニズムを解明し、適切に対応を講じる必要があると考えるがどうか。

高野川流域の浸水対策の早期事業化を！

【山田知事答弁】 従来の由良川水系の台風被害の特徴は、支川から流入した水に由良川が耐えきれず越水して、壊滅的な被害をもたらすものであり、このため平成十六年から緊急水防対策、平成二十五年から緊急治水対策として、輪中堤や連続堤防の整備を進めてきました。その結果、今回は綾部市では記録的な降雨によ

